



社会医療法人北斗

プレス発表資料

帯広畜産大学



令和7年4月30日

報道関係者各位

国立大学法人北海道国立大学機構
帯広畜産大学

社会医療法人北斗と帯広畜産大学との包括連携協定締結について

社会医療法人北斗と帯広畜産大学は、学術の振興及び地域社会の活性化に資することを目的として、令和7年5月14日に連携協力に関する協定を締結します。

本協定により、医療および農学の分野における協力を強化し、地域社会への貢献をさらに深めることを目的としています。

その先駆けの事業として、北斗病院に通院する園児児童を対象としたホースセラピー事業を実施します。大学の馬場で、乗馬体験や馬のふれあい体験をしていただき、ホースセラピーが与える精神的癒し効果に関する調査研究を実施し、成果を療育の現場にフィードバックすることを目的としています。

つきましては、下記のとおり協定締結式を行いますので、お知らせします。取材いただける場合は、5月13日（火）12時までに下記連絡先に会社名、担当者名、参加人数をご連絡くださいますようお願いいたします。

- | | |
|--------|---|
| 1. 日 時 | 令和7年5月14日（水）15:00～15:40（受付開始 14:45） |
| 2. 会 場 | 帯広畜産大学 本部棟 2階 特別会議室
（帯広市稲田町西2線11番地） |
| 3. 出席者 | 社会医療法人北斗 副理事長 井出 渉 他
帯広畜産大学 学長 長澤 秀行 他 |

【連絡先・お問い合わせ】

帯広畜産大学 国際・地域連携課 高橋、荒

E-mail: syogai@obihiro.ac.jp

T E L : 0155-49-5235

帯広畜産大学と社会医療法人北斗との包括連携協定の概要



帯広畜産大学

～食を支え、暮らしを守る～

- ◆ 生命、食料、環境をテーマに「農学」「畜産科学」「獣医学」に関する教育研究を推進
- ◆ 知の創造と実践によって実学の学風を発展させ、「食を支え、暮らしを守る」人材の育成を通じて地域及び国際社会に貢献



社会医療法人北斗

～革新に満ちた医療への挑戦と新たな組織価値の創造～

- ◆ 地域完結型医療・介護の取り組み
- ◆ 第2次予防医療への変わらぬ取り組み
- ◆ 最先端医療技術の積極的な導入・活用



人材

獣医・農畜産融合の教育研究体制で社会の要請に即した人材を育成

農学拠点

先端知識と実践力の習得・向上を求め地球規模課題の解決を目指す多様な人材が世界中から集結

両者の強みを生かした連携

- 研究者の相互派遣及び受け入れ
- ホースセラピーの実施
- 市民公開講座の共同実施 etc...

医療

革新的先進的医療の実現と新たな医療資源価値の創造

地域共生

人と人をつなぐ、地域共生社会の実現に向けた活動

1. 教育の実施

- 北斗病院医師の講義(アドバンスト演習等)
- 療育に関する専門知識の教育

2. 共同研究の推進及び研究成果の普及

- ホースセラピー効果の検証・学会発表・論文執筆
- 人獣共通伝染病に関する情報交換
- 高度医療や最新設備に関する知見共有

3. 人材交流・人材育成

- 職員の相互派遣と受入(研究生・社会人博士等)
- 学生ボランティア・インターンシップ

4. ホースセラピー・馬とのふれあい活動事業

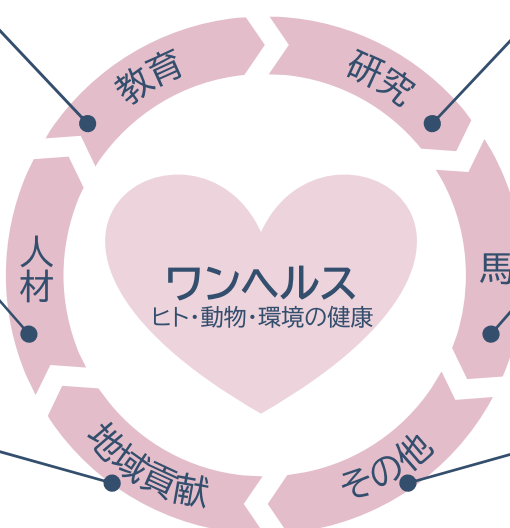
- 支援が必要な児童園児へのホースセラピー
- 馬フォーラムの共同開催

5. 地域貢献・地域活性化

- 市民公開講座の共同開催
- イベントの相互協力

6. その他

- 施設の相互利用
- 学生への診療紹介・留学生への医療支援



ちくだい×北斗病院 ホースセラピー事業

collaboration

ちくだい

馬介在活動室

馬を通じた地域貢献を充実するため、学内の馬使用管理、馬を通じた教育研究、社会貢献を一元化して推進

- 馬文化の保全
- 馬の新しい利活用方法の提案
- 日本在来馬の保護
- 引退馬のセカンドライフ
- ホースセラピーへの理解醸成
- 生物多様性保全の促進

北斗病院

ホースセラピーチーム

体験乗馬や馬とのふれあい活動を介して、学童の発達支援活動や情操教育活動を実践

- ホースセラピーが与える精神的癒し効果に関する調査・研究
- 乗馬による身体的効果に関する調査・研究

ホースセラピーに期待する効果



地域社会への貢献・還元

- ◆ 成果を療育の現場にフィードバック
- ◆ 公開講座や学会発表で知見を共有
- ◆ 地域住民が馬とふれあえる機会の提供



馬の魅力を再発見！



心身の健康UP！